

2024年6月14日

## The Emerging Markets Weekly

### 欧州議会選の結果や FOMC が重しに

**新興国市場:**先週 7 日のアジア時間は米 5 月雇用統計の発表を控え小動き。KRW や IDR が上昇した。欧米時間、良好な米 5 月雇用統計を受けてドル高となり新興国通貨は下押された。MXN は前日比▲2.2%下落。BRL も前日比▲1.7%値を下げた。週初 10 日のアジア時間は先週末の流れが続き軟調。THB や KRW が下落。IDR は 2020 年以来の安値をつけた。欧米時間、欧州議会選の結果や仏下院解散を受けた政治的不透明感の高まりが新興国通貨の重しに。ZAR は政権への期待を背景に上昇。MXN も買われた。11 日アジア時間は材料難の中、大半が小幅に下落。TWD が軟調。欧米時間、マクロン仏大統領辞任を検討との報道を受けユーロに連れて新興国通貨も下落。MXN は前日比▲1.8%売られる一方、ZAR は上昇した。12 日のアジア時間は米 5 月消費者物価指数 (CPI) の発表と FOMC を控え様子見ムードが拡がり動意に欠く展開。欧米時間、米 5 月 CPI が市場予想を下振れるとドル安となり新興国通貨は上昇。しかし、FOMC で市場予想通り政策金利は据え置かれるも、政策金利見通しが上方修正されたことを受けてドルが反発、新興国通貨は軟調。MXN は売り優勢。他方、ZAR は前日比+1.2%上昇。13 日、アジア時間は小幅な値動き。欧州時間、仏下院選への懸念が高まり、東欧通貨も軟調。米国時間は米 5 月生産者物価指数 (PPI) が市場予想を下振れドルが軟化。中南米通貨はまちまち。MXN は前日比+2.0%反発、RUB や BRL も買われた。

**アジア:**7 日発表の中国 5 月貿易収支は+826.2 億ドルの黒字となった。輸出が前年比+7.6%と市場予想を大幅に上回った。インド準備銀行 (RBI、中央銀行) は 7 日に政策金利を 6.50%に据え置くことを決定。据え置きは 8 会合連続。ロシア中央銀行 (CBR) は同日、政策金利を 16.00%に据え置いた。据え置きは 4 会合連続。CBR は 7 月に利上げする可能性を示唆した。12 日発表の中国 5 月 CPI は前年比+0.3%と市場予想は下回ったが、4 か月連続でプラスの伸び率となった。同日発表のインド 5 月 CPI は前年比+4.75%と市場予想を下回った。タイ中央銀行 (BOT) は同日、政策金利を 2.50%に据え置くことを決定。据え置きは 4 会合連続。台湾中央銀行 (CBC) は 13 日、政策金利を 2.000%に据え置くことを決定する一方、預金準備率を+25bp 引き上げた。

**中東欧・アフリカ:**南アフリカでは 14 日に 5 月 29 日投票の南アフリカ総選挙で選出された議会が初招集される。アフリカ民族会議 (ANC) は、幅広い野党と「挙国一致内閣」の成立を目指して協議を継続中。

**ラテンアメリカ:**7 日公表のメキシコ 5 月消費者物価指数 (CPI) は前年比+4.69%と市場予想を下振れた。11 日発表のブラジル 5 月消費者物価指数 (IPCA) は前年比+3.92%と前月から加速し、市場予想も上回った。MXN は今週も憲法改正を巡る懸念、ロペスオブラドール大統領とシェインバウム次期大統領の発言などが意識されて、荒い値動きとなった。

金融市場部  
マーケット・エコノミスト  
堀 堯大  
03-3242-7065  
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

長谷川 久悟  
03-3242-7065  
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜  
03-3242-7065  
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部  
シニア為替ストラテジスト  
中島 将行  
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

## 市場概観(インド)

### 6月金融政策会合～利下げ票が2に増加も、 利下げ示唆は確認できず～

金融市場部  
長谷川 久悟  
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

インド準備銀行(RBI、中央銀行)は5～7日に実施された金融政策委員会(MPC)で政策金利のレポレートを6.50%で据え置くことを決定した。2023年4月会合で約1年ぶりに利上げ実施を見送ったのち、8会合連続で据え置きとなった(図表1)。決定は、政策委員メンバー6人のうち、4名の賛成多数によって決定されている。前回会合まではジャヤント・R・ヴァルマ氏のみが政策金利の引き下げ(▲25bp)を主張していたが、今回会合ではアシマ・ゴヤル氏も含めた2名が利下げを主張するに至った。なお、ブルームバーグの事前予想では、調査対象者の全員が据え置きを予測していた。

声明文や議長会見では、インド経済・物価見通しについての言及が目立った。5月31日に公表された1～3月期実質GDP成長率は、+7.8%(前年比、以下同様)と2023年10～12月期の+8.6%からは伸びが鈍化したが、市場予想の+7.0%を大きく上回った(図表2)。個人消費は小幅に減速も、純輸出や政府消費が成長率を支えた。先行きに関しRBIは、2024-2025年度(2024年4月～2025年3月)の実質GDP成長率予測を+7.2%とし、前回会合時点の+7.0%から上方修正した。平年を上回ると予測されるモンスーンを背景とした農業生産、個人消費の回復、企業投資活動の継続に加え、世界の貿易見通しの改善による外需の回復を受け、高い成長率維持する、と強気な姿勢を示している。一方、地政学的緊張や国際金融市場の不安定性などを見通しへの下押しリスクとして強調した。

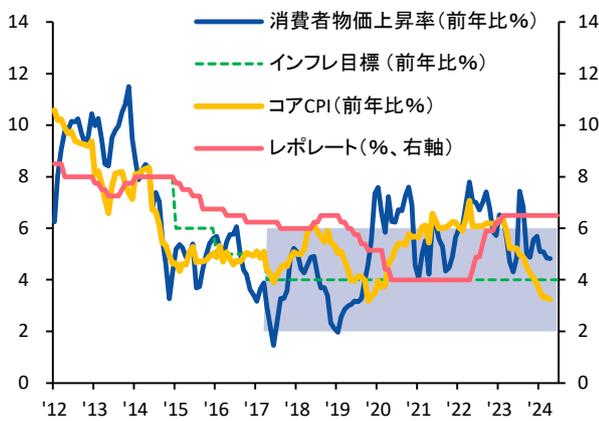
域内の物価動向に関して、4月消費者物価指数(CPI)は+4.83%(前年比、以下同様)と3月の+4.85%からは伸びが鈍化したが、市場予想の+4.80%を上回った(図表3)。また、コアベースでは、+3.2%と4年半ぶりの低い伸びとなっている。食品価格の上昇と燃料価格の下落が相殺され、3月から全体的に変化は見られなかった。コアベースのインフレ鈍化は朗報だが、RBIはあくまで総合ベースの数字を+4.0%(目標レンジの中心)に収束させることを強く意識しておりそれには依然未達である。こうした流れを受けRBIは、先々の見通しに関し、2024-2025年度のインフレ率について同+4.5%と公表し、前回会合時点から据え置いた。四半期ごとの見通しも、一切変更はなかった。なお、インフレのリスクバランスとしては、均等が取れているとの認識に変化はなかった。

かかる中、RBIは「インフレ率を持続的に4%の目標に整合させるとのコミットメントを堅持する」と表明しており、利下げに向けた情報発信は見られなかった。インフレ見通し上は、7～9月期に+3.8%と明確に+4.0%を下回るパスが描かれているものの、声明文および議長会見では、あくまでベース効果の影響であること、そして10～12月期にかけて反発する見込みであることが強調されていた。このような情報発信は、前回4月会合においては確認できなかった。インフレ見通しを背景に、8月会合での利下げを予測する向きも多かったように思うが、その確度は今回のRBIの情報発信によって下がったと言わざるを得ない。上記の要素を踏まえれば、次回8月会合での利下げ開始は現状予測できず、早くても10月会合での利下げ予想が妥当だろう。もっとも、(1)6月会合で利下げ票が増えたこと、(2)RBIの成長率見通しに関し強気すぎる可能性が拭えないこと、は今後RBIがハト派シフトする可能性を示唆するものだ。(2)に関しては、国際通貨基金(IMF)による4月時点の予測が+6.8%(2024-

2025年度)、世界銀行による1月時点の予測が+6.5%、ブルームバーグによるエコノミスト調査(5月22~29日実施)が+6.8%だ。予測時点のずれがあるので一概に言えないが、RBIの見立てはやや強気に思える。今後成長率見通しの引き下げがあれば、ハト派シフトの理由になり得るだろう。

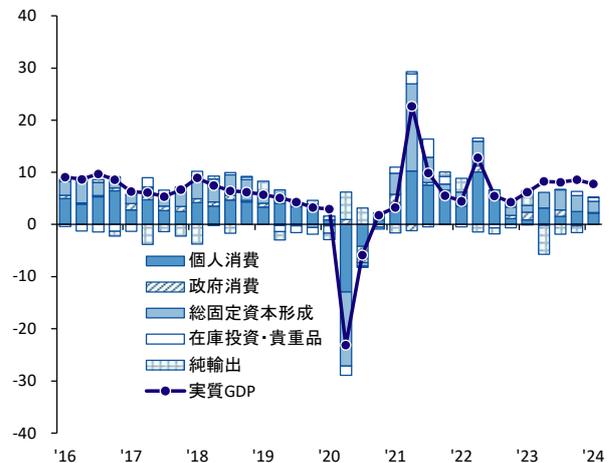
6月に入ってから MPC までの INR 相場は、インド総選挙における与党インド人民党 (BJP) の辛勝が嫌気され弱含んでいるが、83.5 付近では RBI の為替介入もあってか下落幅は限定的となっている(図表 4)。かかる中、向こう3か月程度の INR 相場は、横ばい圏での推移を見込む。RBI は、5月30日に公表した年次報告書において、インド国債の新興市場債券指数への組み入れを控える中、予想される為替市場のボラティリティを抑制すべく、為替介入のツールキットを強化する、といった方針を示した。既に RBI の為替介入は強力である中、INR が大きく動くことは想定されないのが実情だ。インド内政に関わるヘッドラインや米国・インドの金融政策決定で小幅に動く場面はあっても、INR による為替介入がある以上、一方向での値動きになりにくいと言わざるを得ない。

図表 1: レポレートと物価水準の推移



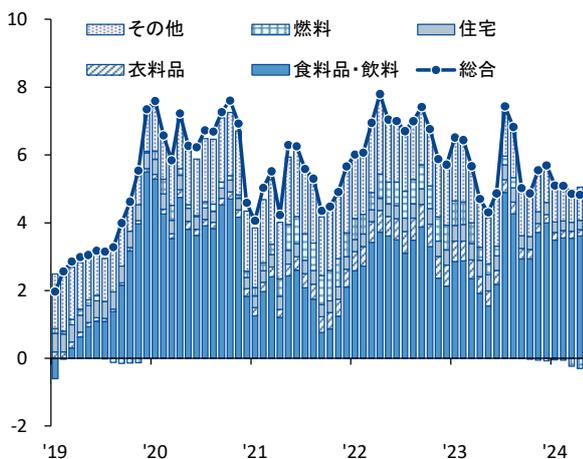
出所: インド準備銀行、みずほ銀行、CEIC 注: 青枠は目標レンジ

図表 2: 実質 GDP 成長率(前年比%、%ポイント)



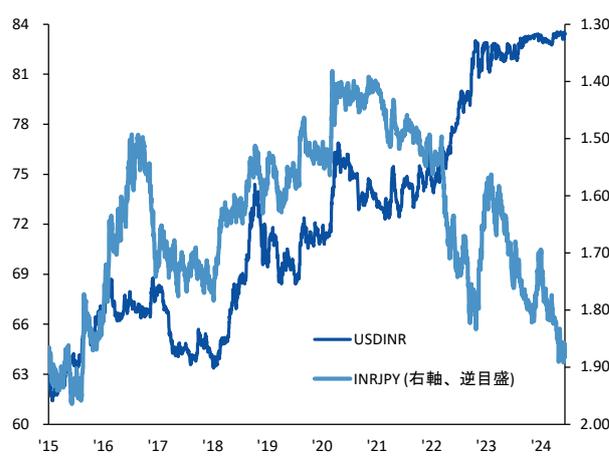
出所: CEIC、みずほ銀行 ※「統計誤差」は意図的に不記載とした

図表 3: 消費者物価の動向 (前年比%、%ポイント)



出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: INR 相場動向



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

## 市場概観(メキシコ)

# MXN 安による Banxico の金融政策への影響を考察

金融市場部  
長谷川 久悟  
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

既報の通り、6月に入って以降、MXN 安が定着している。その要因は、各種報道にもある通り、メキシコで開催された議会選挙において現与党が予想以上の大勝を収め、憲法改正の可能性が意識されたことにある。かかる中、本欄では、ここもとの MXN 安がメキシコ中央銀行(Banxico)に与える影響について具体的な数字を交えつつ論じたい。

過去の通貨ニュース(\*)でも論じた通り、Banxico は3月会合で3年ぶりの利下げに着手したものの、5月会合では政策金利の据え置きを選択し、先々の運営に関しても「データ依存」の姿勢を示している。今後のインフレリスクに関しても、「上振れリスクのほうが大きい」と警戒感を解いてはいない。上振れリスクについてはいくつか要素を列挙しているが、その中の一つには「通貨安」が記載されている。即ち、MXN 安→輸入物価上昇→インフレ再燃の経路を警戒していることがわかる。

かかる中、ここもとの MXN 安はどのように Banxico の金融政策に影響するのだろうか。図表1と2では、USD/MXN と輸入物価の関係性について、折れ線グラフおよび散布図で示している。内外の物価格差など他の要因も多く、それなりに振れも大きいのは事実ではあるが、▲1% (前年比、以下同様)の MXN 安に対し、+0.25%ポイント程度の輸入物価上昇圧力が加わることが示されている。

2023年6月の MXN は、対ドルで17.3程度(月中平均値、Banxico の公表値)であった。2024年6月3日~12日の平均値は、ブルームバーグによると18.0であるため、前年比では約▲3.89%下落した計算となる。これに上記の回帰係数 $\beta$ を掛け合わせれば、輸入物価は概ね+0.99%ポイント程度引き上げられる見込みと結論付けられる。

さらに、輸入物価は消費者物価指数(CPI)に6か月程度先行する性質を持っている(図表3)。以上の要素を踏まえれば、年末付近のCPIには通貨安由来のインフレ圧力が加わる公算が大きいだろう。もちろん、特に新興国の為替レートは短期間のうちに大きく動くので、再度MXN高に回帰する可能性も十分にある。そうなれば、インフレへの影響は短期的なものに留まるだろう。

過去の通貨ニュース(\*)では、高水準な実質政策金利などを背景に、年内年内残り5会合のうち4回程度の利下げ余地がある、と指摘した(図表4)。ただし、上述の要素に加え、足許にかけての総合CPIの反発具合も合わせて考えれば、利下げ余地は明らかに狭まっていると言わざるを得ない。米国に目を移しても、FRBに対する利下げ期待の後退も、Banxicoの利下げ路線にブレーキをかける要素になるだろう。6月27日に次回の金融政策決定会合を控えており、そこでの情報発信などを踏まえて改めて検討したいが、現状は年内3回程度の利下げが妥当と判断を改めたい。

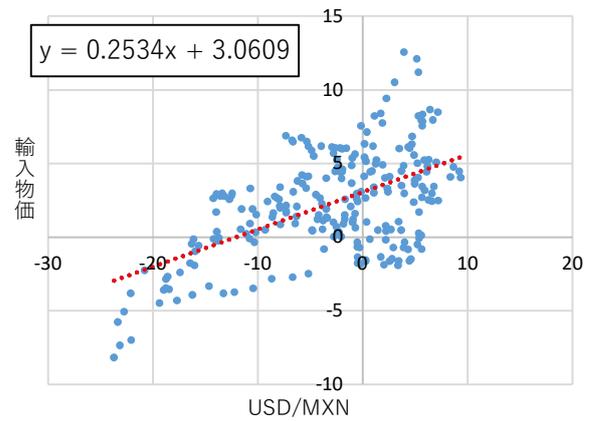
(\*)詳細は、2024年5月10日発行の通貨ニュース、『メキシコ:インフレ見通しを大きく上方修正した上で利下げの「一時停止」を決定』をご覧ください。

図表 1: USD/MXN と輸入物価の動向



出所: Macrobond、みずほ銀行 ※2000～19年までを表示した

図表 2: USD/MXN と輸入物価の関係性(前年比、%)



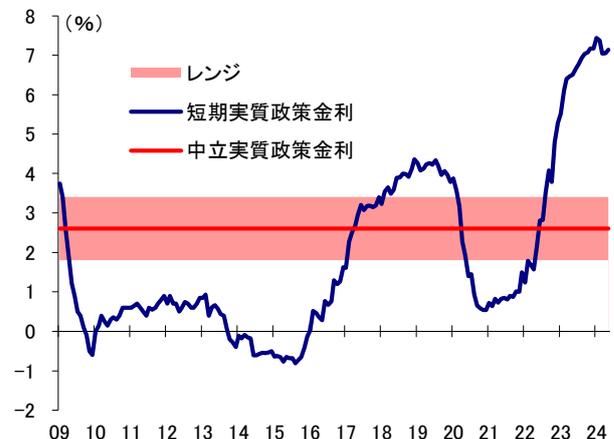
出所: Macrobond、みずほ銀行 ※2000～19年までを表示した

図表 3: 輸入物価指数と消費者物価指数



出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 4: Banxico の想定する中立実質政策金利



出所: Macrobond、みずほ銀行

## 市場概観(タイ)

### 6月金融政策委員会～利下げの後ろ倒しが見込まれる状況

金融市場部  
マーケット・エコノミスト  
堀 堯大  
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

タイ中央銀行(BOT)は12日に金融政策委員会を開催し、政策金利を従来の2.50%に据え置いた(図表1)。政策金利の現状維持は4会合連続での決定となった。なお、委員会メンバーのうち1人は▲25bpsの利下げを主張した。ブルームバーグの事前予想でも現状維持の予想が有力であった。

声明文では国内の景気動向について、概ね前回会合時点の見通しを維持し、24年は前年比+2.6%、25年は同+3.0%と予想した。直近1~3月期の実質GDP成長率は前年同期比+1.5%となり、前四半期の同+1.7%から減速した(図表2)。内訳を見ると、個人消費が同+6.9%と堅調さを維持したが、政府消費が同▲2.1%、総固定資本形成は同▲4.2%などが足を引っ張る格好となった。BOTは外需の持ち直しに期待感を示しているが、GDPへの寄与度は▲1.7%ポイントとなり、6四半期ぶりのマイナス寄与となった。片や、観光業の持ち直しに伴い、サービス輸出が同+24.8%と大幅に増加した。

また、本会合を前にピチャイ財務相は銀行が融資をしやすい環境を整備する必要性があると述べたことが報じられた。図表3、4に示される通り、家計債務の高止まりを背景に商業銀行の貸し出しが頭打ちになっている。BOTは長期的な目線で見た経済成長の鈍化の要因が、足許の高金利の影響だけではなく、与信環境の変化や出生率の低下に伴う労働市場の変化など構造的な要因も関係があると主張する立場である。こうした状況を踏まえて、BOTは長期的な金融環境の安定に向けて債務再編と的を絞った信用保証制度を支援していく方針を示している。

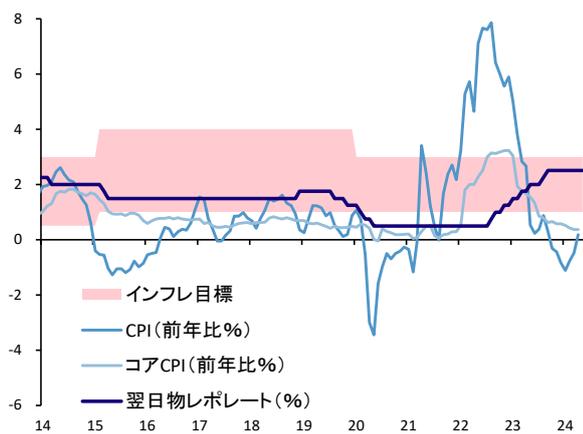
物価動向について、5月消費者物価指数(CPI)は前年比+1.54%と4月以降プラス圏で推移している(図表5)。しかし、その要因はエネルギー価格上昇の影響が大方を占め、生鮮食品とエネルギーを除いたコアCPIは5月も同+0.39%とBOTが目標に掲げる前年比+1.0~+3.0%を下回った。インフレ見通しについて、今年と同+0.6%に据え置かれたが、25年は同+0.5%と▲0.1%ポイント下方修正されており、補助金政策も影響して物価が抑制された面もあるものの、引き続きデフインフレが続くとの見方を示した。

BOTは今回も利下げを見送った格好となったが、現在の政策金利は長期的に持続可能な成長、金融市場を維持する上で適当であるとの見方を維持した。利下げについては、セター首相をはじめ政府関係者からも要求の声が出ているものの、BOTの姿勢からは早期の実施の可能性が限定的であるように映る。この背景として、BOTがTHBの動向に配慮している印象を受ける。本会合の直後に実施されたFOMCでは、市場の予想通り利下げ着手のタイミングが後ろ倒しとなることが示唆されており、年初以降ドルが堅調さを維持する状況下、FRBに先行して金融政策の転換に踏み込みにくい事情があると推察される。

THBはドルに押される展開が続いており、対ドルで年初来▲6.9%とASEAN通貨の中で最もアンダーパフォームしている通貨である(図表6)。安易な利下げは一層のTHB安を招き得ず、その判断は慎重にならざるを得ない。先のFRBの情報発信を受けて、BOTの政策転換のタイミングも後ろ倒しとなると考えられ、本欄では今年秋

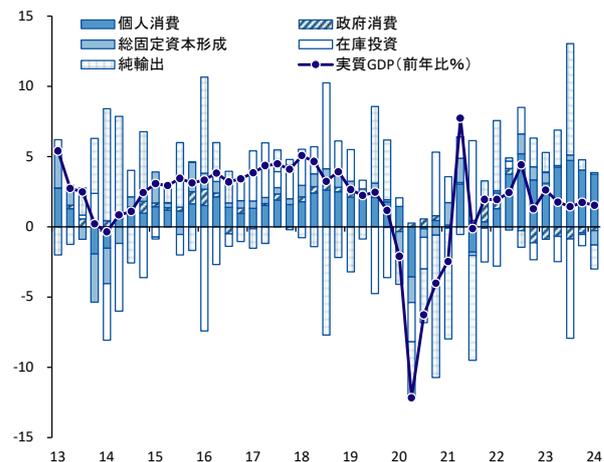
以降となると予想する。THB の見通しについても、外部要因次第の時間帯が継続し  
 そうである。金利面で買い要素を欠く中で、外需の持ち直しをはじめとする輸出環境  
 の改善や休暇シーズンにおける外国人観光客受入の加速に伴うサービス収支の持  
 ち直しの動向が THB の方向感にも影響していくと思われる。もっとも、これらを考慮  
 してもドル優勢の地合いに変わりはないと予想される。

図表 1: タイの政策金利とインフレ率



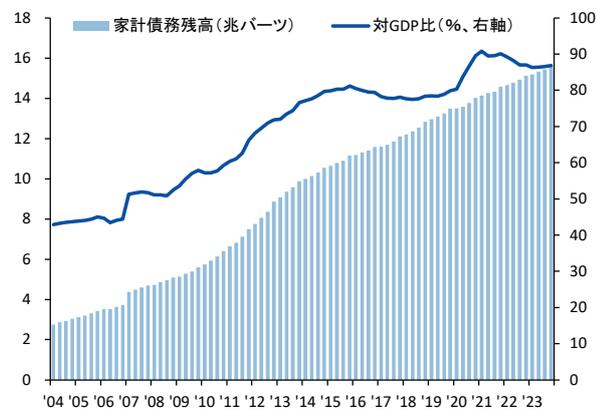
出所: タイ中央銀行、タイ商務省、CEIC、みずほ銀行

図表 2: 実質 GDP 成長率の推移 (前年比%、%ポイント)



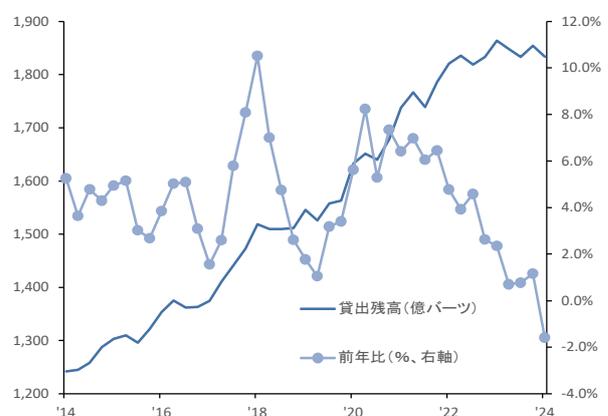
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3: 家計債務残高の推移



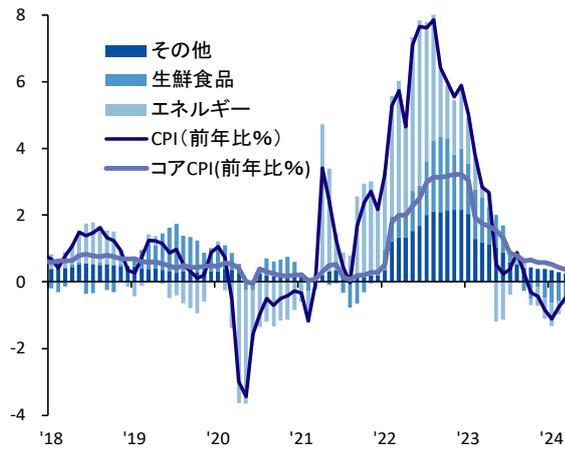
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: 商業銀行の貸出残高の推移



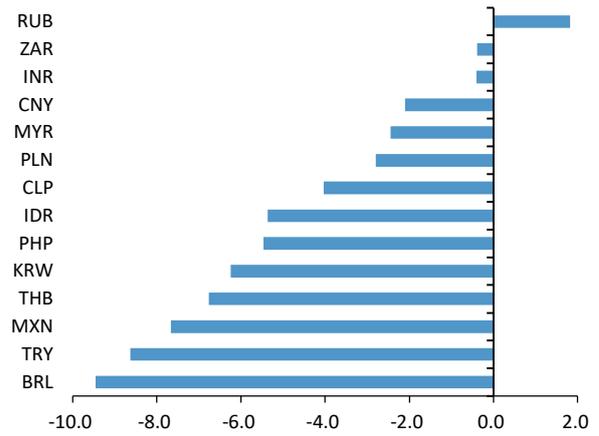
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 5: CPIの動向 (前年比%、%ポイント)



出所: CEIC、みずほ銀行

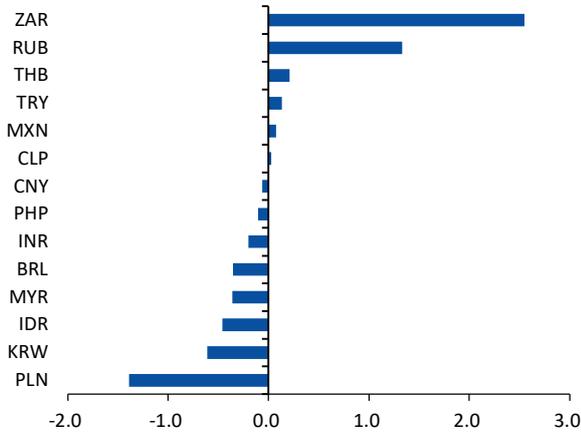
図表 6: 新興国通貨の年初来騰落率(対ドル、%、6/14時点)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

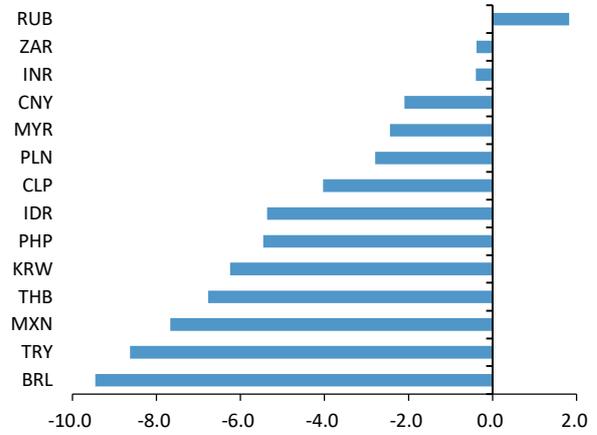
## 資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



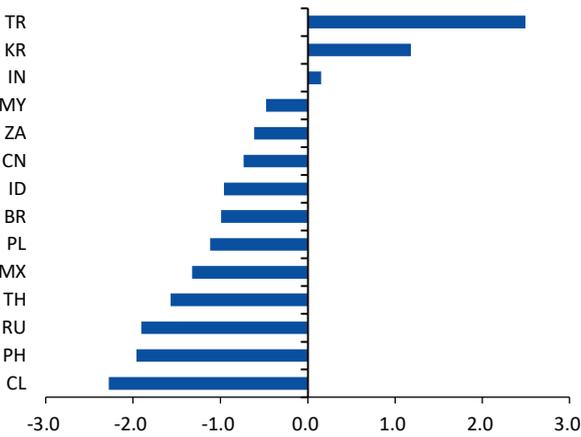
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



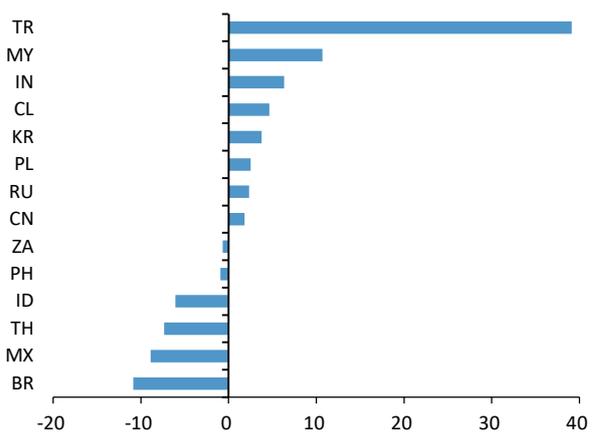
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



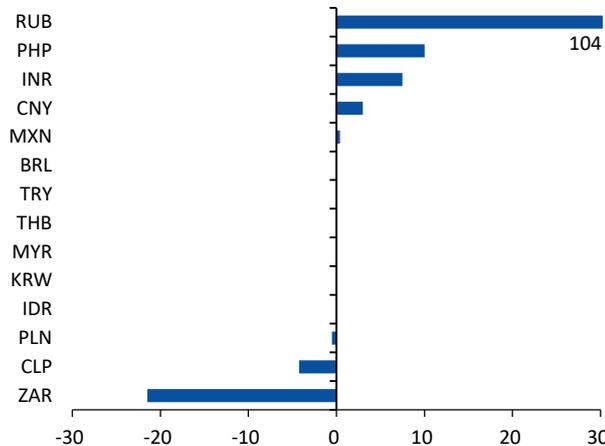
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

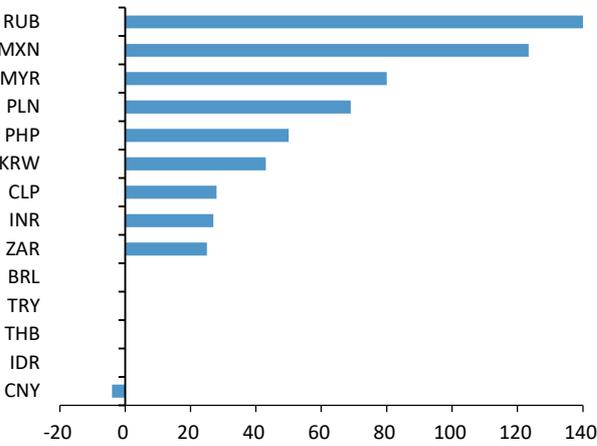
5年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

5年物スワップレート年初来変化(bp)

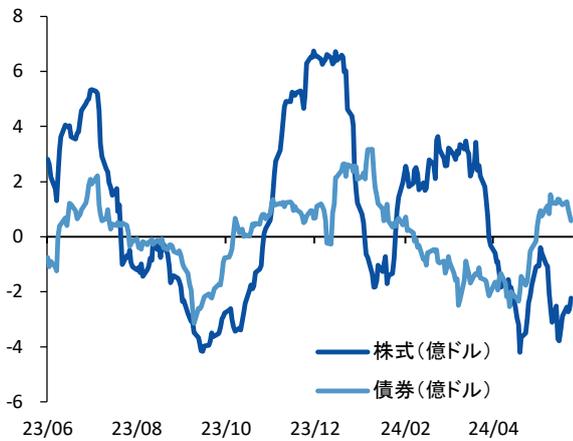


注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

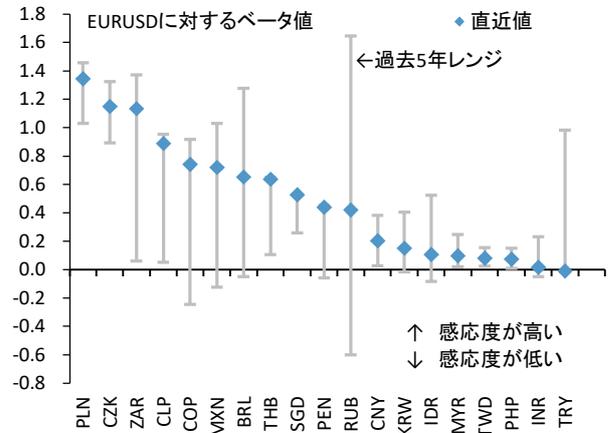
チャート集

主要新興国への証券投資(4週間移動平均)



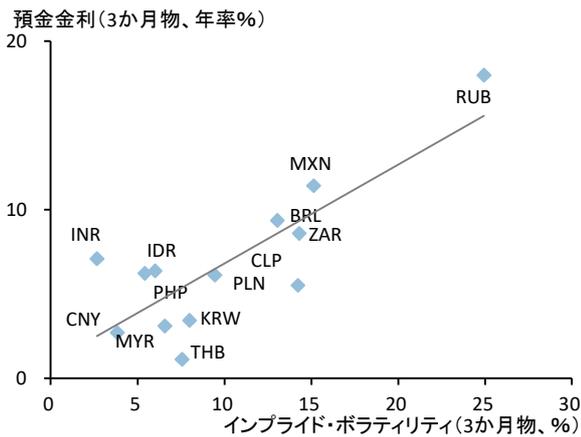
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

EM通貨(対ドル)のEURUSDに対する感応度(過去12か月)



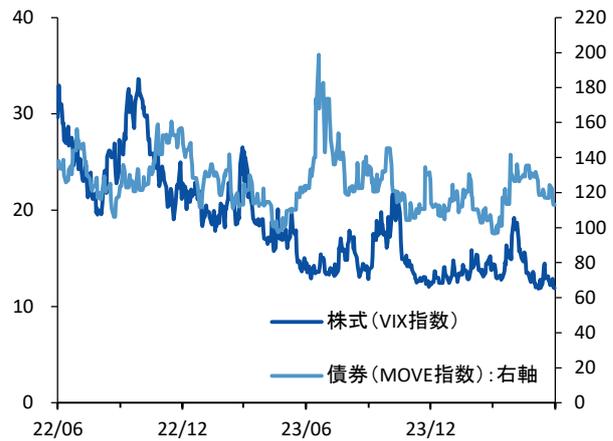
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



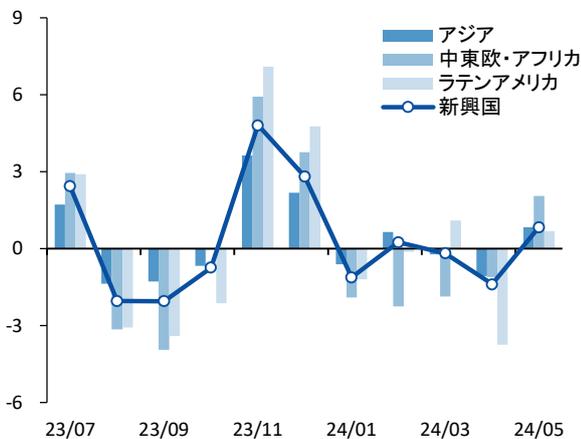
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX指数、MOVE指数)



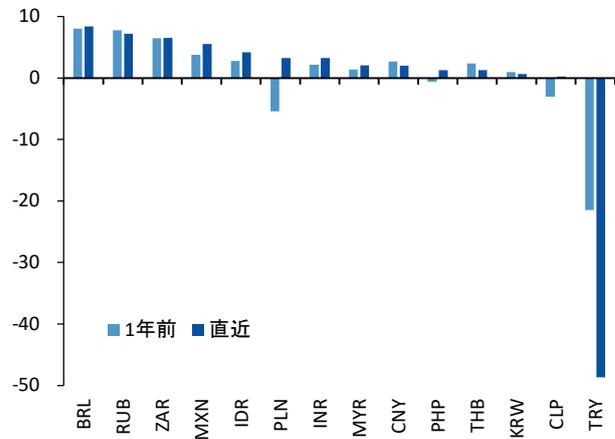
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

実質金利(10年物国債金利 - 消費者物価上昇率, %)



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

## 新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
<b>エマージングアジア</b>						
6月10日 (月)	マレーシア	鉱工業生産(前年比)	6.5%	6.1%	2.4%	--
11日 (火)	韓国	国際収支:経常収支	--	\$5111.4m	\$6931.4m	--
11日 (火)	フィリピン	貿易収支	-\$3700m	-\$4761m	-\$3181m	--
12日 (水)	中国	PPI(前年比)	-1.5%	-1.4%	-2.5%	--
12日 (水)	中国	CPI(前年比)	0.4%	0.3%	0.3%	--
12日 (水)	タイ	対中央銀行指標金利	2.50%	2.50%	2.50%	--
12日 (水)	インド	CPI(前年比)	4.9%	4.8%	4.8%	--
12日 (水)	インド	鉱工業生産(前年比)	4.6%	5.0%	4.9%	5.4%
12-14日	インド	輸入(前年比)	--	--	10.3%	--
12-14日	インド	輸出(前年比)	--	--	1.1%	--
13日 (木)	台湾	CBC指標金利	--	2.000%	2.000%	--
17日 (月)	中国	鉱工業生産(前年比)	6.0%	--	6.7%	--
17日 (月)	中国	小売売上高(前年比)	3.0%	--	2.3%	--
17日 (月)	中国	固定資産投資(除農村部/年初来/前年比)	4.2%	--	4.2%	--
17日 (月)	フィリピン	Overseas Cash Remittances YoY	--	--	2.5%	--
18日 (火)	シンガポール	非石油地場輸出(前年比)	--	--	-9.3%	--
19日 (水)	インドネシア	貿易収支	--	--	\$3559m	--
19日 (水)	フィリピン	総合国際収支	--	--	-\$639m	--
20日 (木)	マレーシア	輸出(前年比)	--	--	9.1%	--
20日 (木)	インドネシア	BI-Rate	--	--	6.3%	--
20日 (木)	台湾	輸出受注(前年比)	--	--	10.8%	--
21日 (金)	韓国	PPI 前年比	--	--	1.8%	--
<b>中東欧・アフリカ</b>						
6月10日 (月)	トルコ	鉱工業生産(前年比)	2.0%	-0.7%	4.3%	4.6%
10日 (月)	トルコ	経常収支	-6.10b	-5.29b	-4.54b	-4.43b
11日 (火)	南ア	製造業生産(季調前/前年比)	1.6%	5.3%	-6.4%	-6.5%
13日 (木)	ロシア	貿易収支	--	10.7b	18.8b	18.9b
15日 (土)	ロシア	GDP(前年比)	5.4%	--	5.4%	--
15日 (土)	ロシア	CPI(前年比)	8.1%	--	7.8%	--
19日 (水)	南ア	CPI(前年比)	--	--	5.2%	--
19日 (水)	南ア	小売売上高(実質値、前年比)	--	--	2.3%	--
20日 (木)	ロシア	PPI 前年比	--	--	18.4%	--
<b>ラテンアメリカ</b>						
6月11日 (火)	メキシコ	鉱工業生産(季調前/前年比)	4.2%	5.1%	-3.0%	-3.4%
11日 (火)	ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	3.9%	3.4%	3.7%	--
13日 (木)	ブラジル	小売売上高(前年比)	3.9%	2.2%	5.7%	--
20日 (木)	ブラジル	SELICレート	10.50%	--	10.50%	--
20日 (木)	メキシコ	小売売上高(前年比)	--	--	-1.7%	--
21日 (金)	メキシコ	経済活動IGAE(前年比)	--	--	-1.3%	--

注:2024年6月14日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。  
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

## 為替相場見通し

	2024年 1～5月(実績)	SPOT	2024年 6月	9月	12月	2025年 3月	6月
<b>対ドル</b>							
<b>エマージングアジア</b>							
中国人民幣 (CNY)	7.1021 ~ 7.2497	7.2526	7.25	7.20	7.15	7.10	7.05
香港ドル (HKD)	7.7964 ~ 7.8387	7.8104	7.82	7.80	7.80	7.78	7.77
インドルピー (INR)	82.646 ~ 83.575	83.548	84.5	82.8	84.0	82.2	80.9
インドネシアルピア (IDR)	15430 ~ 16288	16270	16150	15950	16000	15800	15600
韓国ウォン (KRW)	1290.40 ~ 1400.00	1373.88	1360	1340	1350	1330	1310
マレーシアリング (MYR)	4.5892 ~ 4.8053	4.7090	4.72	4.68	4.70	4.65	4.60
フィリピンペソ (PHP)	55.300 ~ 58.750	58.597	57.4	57.0	57.4	56.5	56.0
シンガポールドル (SGD)	1.3193 ~ 1.3670	1.3510	1.35	1.35	1.37	1.34	1.33
台湾ドル (TWD)	30.663 ~ 32.664	32.340	32.0	31.5	31.8	31.3	30.5
タイバーツ (THB)	34.11 ~ 37.18	36.75	36.3	35.4	36.2	35.0	34.5
ベトナムドン (VND)	24260 ~ 25477	25443	25200	24800	25200	24900	24700
<b>中東欧・アフリカ</b>							
ロシアルーブル (RUB)	87.4000 ~ 95.4670	87.8750	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0
南アフリカランド (ZAR)	18.0290 ~ 19.3899	18.4403	18.9	19.1	19.2	19.3	19.4
トルコリラ (TRY)	29.6646 ~ 32.8170	32.4966	32.0	31.5	31.0	30.5	30.0
<b>ラテンアメリカ</b>							
ブラジルリアル (BRL)	4.8314 ~ 5.2869	5.3640	5.20	5.16	5.10	5.12	5.15
メキシコペソ (MXN)	16.2616 ~ 18.2137	18.3972	17.2	17.4	17.5	17.7	18.0
<b>対円</b>							
<b>エマージングアジア</b>							
中国人民幣 (CNY)	19.830 ~ 22.066	21.631	21.79	21.67	22.10	22.39	22.70
香港ドル (HKD)	18.032 ~ 20.437	20.103	20.20	20.00	20.26	20.44	20.59
インドルピー (INR)	1.695 ~ 1.920	1.879	1.87	1.88	1.88	1.93	1.98
インドネシアルピア (100IDR)	0.913 ~ 0.984	0.965	0.978	0.978	0.988	1.006	1.026
韓国ウォン (100KRW)	10.820 ~ 11.580	11.428	11.62	11.64	11.70	11.95	12.21
マレーシアリング (MYR)	30.593 ~ 33.519	33.375	33.47	33.33	33.62	34.19	34.78
フィリピンペソ (PHP)	2.541 ~ 2.765	2.683	2.75	2.74	2.75	2.81	2.86
シンガポールドル (SGD)	106.65 ~ 117.51	116.19	116.69	115.90	115.75	119.10	120.30
台湾ドル (TWD)	4.576 ~ 4.894	4.853	4.94	4.95	4.97	5.08	5.25
タイバーツ (THB)	4.096 ~ 4.342	4.273	4.35	4.41	4.36	4.54	4.64
ベトナムドン (10000VND)	0.5807 ~ 0.6291	0.6169	0.63	0.63	0.63	0.64	0.65
<b>中東欧・アフリカ</b>							
ロシアルーブル (RUB)	1.552 ~ 1.787	1.787	1.74	1.70	1.70	1.69	1.68
南アフリカランド (ZAR)	7.588 ~ 8.664	8.517	8.36	8.17	8.23	8.24	8.25
トルコリラ (TRY)	4.538 ~ 4.945	4.798	4.94	4.95	5.10	5.21	5.33
<b>ラテンアメリカ</b>							
ブラジルリアル (BRL)	28.829 ~ 31.200	29.271	30.38	30.23	30.98	31.05	31.07
メキシコペソ (MXN)	8.297 ~ 9.455	8.531	9.19	8.97	9.03	8.98	8.89

注: 1. 実績の欄は2024年5月31日まで。SPOTは6月14日の7時00分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。